

世界初、生成 AI を活用してカーボンの品質を評価する Web サービス「GreenChecker」の提供開始について

2025 年 3 月 28 日

大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆）は、本日より世界で初めて*¹、生成 AI を活用してカーボンの品質を評価する Web サービス「GreenChecker（グリーン・チェッカー）」の提供を開始します。

本日より開始する、本 Web サービスの先行提供を通じて、フィードバックを踏まえながらさらなる磨き込みを行い、2025 年夏頃を目途に一般提供を開始する予定です。

■「GreenChecker」の利用画面の一部

図 1：プロジェクト番号 139 と 69 で創出されるカーボンの品質の評価結果

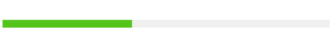
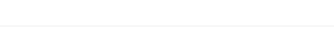
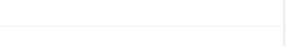
プロジェクト番号	139	69
方法論	バイオチャー	バイオチャー
条件1	食品工場残渣物	農業廃棄物
条件2	ハイテク技術ではない	ハイテク技術ではない
評価基準	すべて	すべて
総合スコア	 41 点 90 点中	 60 点 87 点中
LCA	13点/ 33点  	21点/ 33点  
持続性	13点/ 26点  	15点/ 25点  
追加性	3点/ 9点  	7点/ 9点  
リーケージ	2点/ 2点  	2点/ 2点  
ベースライン	2点/ 3点  	3点/ 3点  
PJ	1点/ 9点  	5点/ 7点  
Co-Benefit	7点/ 8点  	7点/ 8点  

図 2：あるプロジェクトの永続性*²の点数の詳細画面

< 永続性

個別スコア **14** 点 / 26点

評価基準

すべて

クライテリア	評価基準	判定	根拠	
廃棄バイオマスからのバイオ炭生産	verra	○	The methodology is applicable since th	
熱分解技術の適切性	sylvera	○	The project uses flame curtain pyrolysis	
熱分解温度の要件	ebc	○	The project uses flame curtain pyrolysis	
炭化プロセスにおけるバイオ炭定義の除外	ebc	○	The methodology is applicable when bi	

1. 背景

近年、企業などにおいては、カーボンニュートラルに関する計画を達成するための手段として、温室効果ガスの削減努力に加えて、カーボנקレジットを活用する動きが増えています。一方で、カーボנקレジットの中には、基準に満たない低品質なものが含まれる可能性もあることから、カーボנקレジットの品質を適切に評価することは、非常に重要です。

このような中、当社は 2024 年に、世界に先駆けて*³生成 AI を活用してカーボנקレジットの品質を評価するシステム（以下「本 AI システム」）を構築*⁴しており、適用分野の拡大や精度向上に取り組んできました。(特許取得済み)

2. 「GreenChecker」の概要

カーボנקレジットの品質を評価する Web サービス「GreenChecker」は、当社が構築した本 AI システムを内蔵しており、生成 AI により、カーボנקレジット創出プロジェクトの計画書と予め設定した複数の基準との整合性を評価することで、クレジットの品質を短時間でチェックします。

サービス利用者は、「GreenChecker」に計画書を読み込ませるだけで、当該プロジェクトの点数（絶対評価）や、同分野の他プロジェクトの中での順位（相対評価）、基準に到達していない項目などの情報を取得することが可能となります。

本 Web サービスの提供は、バイオ炭*⁵、水田メタン*⁶分野のカーボנקレジットを対象として開始し、2025 年 4 月頃に森林伐採抑制や cookstove*⁷等の分野に適用範囲を広げ、今後も拡大を続けていく予定です。

3. 今後の展開

今後、パートナー企業との連携も通じて、本 Web サービスの適用分野を拡大するとともに、アジア地域から段階的に販売先の拡大を進める計画です。また、根幹となる本 AI システムの評価精度の向上や新機能の実装といった更なるシステムの開発も継続します。

将来的には、本 Web サービスの利用により各社がカーボンの品質評価を行い、グリーンウォッシュのない世界の実現や、クレジット取引プラットフォームを形成することなどを通じて、2050 年のカーボンニュートラル実現に貢献したいと考えています。

Daigas グループは、2025 年 2 月に発表した「エネルギーtransition 2050」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの"さらなる進化"のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

- * 1 : 当社調べによる
- * 2 : 削減または吸収された温室効果ガスが長期間にわたって大気中に戻らないことを保証する概念
- * 3 : 当社調べによる
- * 4 : 生成 AI を活用してカーボンの品質を評価するシステムの構築について（2024 年 10 月発表）
https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2024/1781324_56470.html
- * 5 : 木材や農業残渣などを分解されにくいバイオ炭に炭化して、農地の土壌などに投入することで、CO₂ を長期間にわたり地中に貯留する方法
- * 6 : 水田の水を抜くとメタン生成菌の活動が低下してメタンの生成量が減少することを利用して、稲作時に水を抜く期間を延長することや、複数回設けることにより、メタンの発生量を抑制する方法
- * 7 : 効率の悪いコンロを効率の良いコンロに置き換えることで、CO₂ の排出量を低減する方法

以上